

理系女性の キャリア インタビュアー

入社半年で海外プロジェクトに参加 ダイナミックに成長できる環境



製鉄プラント、環境ソリューション、海洋・エネルギー、建築・鋼構造分野における総合エンジニアリング会社として世界トップクラスの技術力を有し、国内外で数多くの大規模プロジェクトを手がけている新日鉄住金エンジニアリング株式会社。その技術力とマネジメント力は世界で高く評価されています。今回登場いただく鯨岡さんは製鉄プラント事業部に所属し、入社1年目からメキシコの溶融亜鉛めっきラインの設計を担当。3年目には試運転の監督者として現地に赴きました。就職活動時から女性の働きやすさに着目していたという鯨岡さんに、同社ならではのダイナミックな仕事のやりがい、女性が活躍できる環境について聞きました。

就職先としてプラント業界を選択した決め手を教えてください。

もともとバイクが大好きだったことから、最初はプラント業界とはまったく違うバイクメーカーへの就職を考えていました。しかし様々な会社に出会う中で、当社の「プロジェクト仕事」とよばれる、プロジェクトを一貫して管理する仕事の進め方に興味を持ちました。学生時代にフォーミュラカーを作るサークルに所属しており、そこで一番楽しかったのは、プロジェクトリーダーとして担当したスポンサー探し・設計・組み立て・走行まで全体の流れに携わった経験でした。そこで細分化・分業化された工程を突き詰めていく働き方よりも、プロジェクト全体を見渡すことができる当社の仕事の進めの方が私のやりたいモノづくりだと気付き、最終的に当社

きました。その時に「この仕事をしていて本当によかった」と改めて実感しましたね。

女性の働きやすさについてはいかがでしょうか？

最初は「女性が多い方が働きやすいのかな」と思っていたのですが、実際に働いてみると少数だからといって不利なことはほとんどありません。例えば仕事で会う方々にすぐ顔と名前を覚えていただけるのは、女性が少ないからこそですね。

女性が働き続けるための各種制度も充実しています。つい先日も育児休暇から復帰した先輩に話を聞きました。産休・育休中はパソコンの貸し出し制度があり、業務情報の共有や上司との相談ができたため、復帰後もスムーズに業務にキャッチアップできたそうです。また制度だけではなく上司や同僚など周囲の理解とフォローもあり、仕事と育児を両立しやすいということでした。もちろん人それぞれ状況は違いますから、先輩ができるから私も必ずできるということはいいでしょう。とはいえ、実際に子育てをしながら活躍している女性社員の存在は、仕事と家庭を両立しながらキャリアを築いていきたいという目標を持つ私にとって、大きな支えになります。

最後に、理系女子学生にメッセージをお願いします。

私自身がそうだったのですが、様々な業界や企業に触れることで、思いがけない方向から自分のやりたいことが明確になっていくことがあります。ですから就職活動をする上では最初から絞り込みすぎず、まずは視野を広く持った方がいいと思います。

への入社を決めました。また、もう一つ大きな軸として女性が働き続けられる環境だと感じたことも決め手となりました。

「女性が働き続けられる環境」は、どのように判断しましたか？

最初は制度や女性社員の割合を重視していたのですが、徐々に制度だけではなく実際に女性がどんな風に働いているのかを気にするようになりました。当社は人材を大切に社風であることから、そういった会社は女性も働きやすいのではないかと考えたのです。当社の選考の過程で「女性社員に会って話を聞きたい」と人事担当者に伝えたところ、その時近くに出張に来ていた女性技術者や拠点で働く女性社員など、複数名に会わせてもらえました。入社を決める前に多くの社員から話を聞くことができ、女性が活躍していることが分かったのはもちろんですが、「一人ひとりの要望にここまで対応してくれるということは、本当に人を大切にしている会社と違う」と確信しました。

最近までメキシコに長期出張していたそうですね。そのプロジェクトについて教えてください。

入社半年でメキシコに新設する自動車用の溶融亜鉛めっき鋼板製造ラインのプロジェクトに配属され、その中のひとつの設備の設計を任せられました。ほぼ白紙の状態からスタートし、物の配置の決定、仕様計算、図面作成、購入品の対応、製造の依頼まで一貫して行いました。そして入社3年目に入った頃、メ

また理系女性は確かに少数派ですが、会社説明会の場でも50人中1人しか女性がいないということもあるでしょう。そういう時に女性の働き方について知りたいと思っても、「自分のためだけに質問しても迷惑なんじゃないか」と遠慮してしまう人もいますが、それは非常にもったいないと思います。自分の人生に関わることで、知りたい情報や要望があれば、是非積極的に発言してほしいですね。本当に自分に合う会社はどのような会社なのか、やりたい仕事は何なのかを見極めるために、できることはどんどんしていきましょう。

PROFILE



鯨岡 絵理 (くじらおか・えり)
新日鉄住金エンジニアリング株式会社
製鉄プラント事業部
製鉄プラントエンジニアリング第二部
商品技術室 鋼板処理技術グループ

京都大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻
学生時代はフォーミュラカーのサークルに所属。
プロジェクトリーダーを務め、モノづくりの楽しさを知る。
新日鉄エンジニアリング株式会社(現・新日鉄住金エンジニアリング株式会社)に2010年新卒入社。入社1年目からメキシコに建設する溶融亜鉛めっきラインのプロジェクトに配属となり、設計から試運転まで一連の流れを担当。

キシコでプラントの工事がスタート。実際に組み上げていく段階で発覚した図面の齟齬など、現地から寄せられる様々な問い合わせに対応していきました。工事が終わったら、いよいよプラントの試運転がスタートします。私は試運転の担当者として2013年1月から約8カ月間メキシコに滞在しました。一つの機器を動かすところから始まり、最終的にはライン全体で設計通りの性能が出るか確認を重ねていきます。そして最終的にお客様にも納得していただける状態で引渡しができたときは、本当に安心しました。竣工式ではメキシコ大統領と握手したんですよ。

プロジェクトに配属されてから、引渡しまで丸3年。設計だけで終わりではなく、まさにプロジェクト全体を見渡す貴重な経験ができました。

入社間もない頃から大きな仕事を任せられる環境なのですね。

もちろん上司や先輩からのサポートや指導は随所であります。とはいえ、メインの担当者は自分自身です。今回は最初のプロジェクトのため、まずは必要な性能をクリアすることに精一杯で、後から「もつとこうすればよかった」と改善点がいくつか出てきました。それは、設計から試運転まで責任を持って携わったからこそ気が付けたことです。

また、試運転は当社の設備に不慣れな現地のオペレーターさんに説明しながら進めるため、苦労しましたが、最終日に「最初は大変だったけれど、いろいろ教えてくれて助かったよ。一緒に仕事ができよかった、ありがとう」という言葉をかけていた